

年間指導計画を見直す参考資料（中学校 学級活動）

1 年間時数について

- 年間35時間（週1時間）の標準授業時間数を、年間10時間（隔週1回程度）以上とする。

2 年間時数の精選方法（例）

- 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、重点的に指導する内容を精選する。その際、生徒の発達段階や実態に合わせて、学級活動の内容(1)(2)(3)の3つの内容をバランスよく配置する。
- 内容の配置については、指導内容の関連を鑑み、複数の内容の統合を図ることも考えられる。
※例えば、(2)ア、(3)ウを統合して、「中学〇年生になって」等の題材を設定する。
- 関連する行事（学校行事や生徒会活動等）に合わせて学級活動の時間を設定する必要がある場合、一定期間にまとめて学級活動の時間を設定することも考えられる。
- 隔週程度としたことで余剰時間が生まれた場合には、学校の実態に合わせて、学級活動の充実に充てたり、他教科等の時間に充てたりすることが考えられる。
- 学級活動と道徳との関連については、道徳科で学んだことの実践の場として学級活動の時間を活用するといった「両輪の関係」であることから、時間割作成時に「学活/道徳」といった単位で設定し、学活と道徳を週替わりで行うことも考えられる。
- 事前や事後の活動として朝の会や帰りの会を活用し、清掃や給食当番の活動や係活動についての振り返り活動を取り入れるなどの工夫も考えられる。

3 題材を扱う上での配慮事項等

- 各学校の目指す生徒像や教育理念、生徒の実態など、それぞれの実情に応じて、道徳教育の重点を踏まえた指導の重点化を図る。
※例えば、道徳における重点「いじめの防止」と学級活動における題材「いじめをなくすためにどうしたらいいか考えよう」の関連を図る。
- 中学校1年生については、生徒の実態に応じ、いわゆる中1ギャップによる学校不適応等に十分配慮し、また、小学校高学年の学級活動との接続も図って、生徒に希望や目標をもたせるとともに、達成感を味わわせることができるよう工夫する。

4 年間指導計画の見直しの例 中学校第3学年

回	議題・題材	内容	活動内容・留意点 等
1	学級目標、係委員会を決めよう	(1)ア イ	・事前に集約していた「どんな学級にしたいか」を基に学級目標を決定する。 ※生徒同士で再会を喜び、互いをねぎらうような温かい雰囲気づくりに努める。 ・生徒の希望を基に、委員会・係を決定する。
2	中学3年生になって	(2)ア (3)ウ	・3年生の学習や生活について知り、具体的なめあてを立てる。不安を解消し、互いに支え合う人間関係を築くことへの意欲をもつ。
3	自分を大切にしよう ～こころのSOSの出し方、受け止め方～	(2)ウ エオ	・ストレスへの様々な対処方法について話し合い、現在及び今後大きな不安や悩みを抱えた際の援助の求め方について考える。※「生活のリズム」「運動、睡眠、食事」等、心身の健康につながる生活について取り上げることも考えられる。
4	望ましい「異性との関わり」について考えよう	(2)イ	・「異性との関わり」について、養護教諭や専門家の話を聞く。 ・中学生としての望ましい異性との関わりについて考え、これからの自分の行動の仕方、考え方について意思決定する。
5	学校行事を成功させよう	(1)ウ	・各学校で実施される行事のねらいを達成するために何を行うのかを話し合う。 ※体育大会等、他の学校行事と関連させた議題を設定することも考えられる。
6	いじめをなくすためにどうしたらいいか考えよう	(1)ア (2)ア	・いじめを生まない集団、お互いを支え合う学級をつくるためにはどうしたらよいか話し合う。 ※道徳や人権集会等との関連を図る。
7	「私たちの悩み」～進路選択の時期を迎えて～	(2)ウ	・受験期特有の不安・悩みについて、率直に語り合い、解決・解消のための手立てや方法について考える。
8	将来に生きて働く資質・能力とは	(3)ウ	・ロールプレイ「事業所の採用選考面接」を行い、将来に生きて働く資質・能力について話し合い、考えをまとめる。
9	ネットやSNSのトラブルを解決しよう	(2)ウ (3)ア	・ネットやSNSのトラブルについて意見を出し合い、SNSの正しい使い方や望ましい人間関係の築き方について話し合う。 ・ネットやSNSに没頭することなく自らの進路に向き合うことについて話し合う。
10	18歳の私へ	(3)ウ	・中学校3年間を振り返りながら、自分自身の成長を振り返り、18歳の自分へ向けて手紙を書く。